

施策評価票

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

1 心豊かにたくましく生きる子どもの育成

- ◎基礎的な学力・体力の向上
- ◎時代の変化に対応した教育の推進
- ◎多様な教育的ニーズのある子どもたちへの支援
- ◎豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
- ◎地域とともにある学校づくり
- ◎教育環境の整備
- ◎地域で育む教育の推進
- ◎特色ある交流事業の推進

2 生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供

- ◎生涯各期における学習活動の充実
- ◎社会教育の充実と活性化
- ◎多様な分野の学習活動の促進
- ◎自由に学び成果を生かす学習環境の整備と連携態勢の構築

3 芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実

- ◎芸術文化の振興
- ◎文化財の保護継承と活用
- ◎地域の芸術文化の創造
- ◎山岳文化の振興と活用
- ◎スポーツの振興

進捗状況

A・・・順調/B・・・おおむね順調/C・・・やや遅れている/D・・・遅れている/E・・・未実施

◆1 心豊かにたくましく生きる子どもの育成◆

子どもたちを取り巻く課題は、少子化による児童数や学級数の減少に伴う教育環境の維持、確保のほか、教育の格差やいじめ、不登校、非行の問題など多岐にわたり、地域全体で解決に向けた取組みが求められています。

子どもたちを学校・家庭・地域が協働して支援するコミュニティ・スクールを推進し、郷土に誇りと愛着を持ち、将来への目的意識や自尊感情、人を思いやる心と社会において自立的に生きるために必要な「たくましく生きる力」を育みます。

また、コミュニティ・スクールの取組みの中で、今後の少子化を見据え、学校等の統廃合を含めた、あらゆるケースを想定しながら、幼児期を含めた教育のあり方全般について、地域とともに協議を進めます。

【基礎的な学力・体力の向上】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎基礎学力の定着と向上	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実 ・30人規模学級、少人数による学習集団指導、習熟度別学習等の推進 ・基礎学力を向上させる取組みの推進 ・社会性の確立と基礎体力向上の促進 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての小・中学校に30人規模学級を取り入れ、少人数による指導が実現している。 ・すべての小・中学校で全国学力テストを実施し、実態の正確な把握のもと、指導改善を実施することにより、全国と比較しても良好な結果である。 ・少人数指導のさらなる工夫改善に取り組む。 	B
◎小中一貫、小中連携教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育や連携教育の推進により、義務教育を一貫した教育課程でつなぐ協働の学びを通じた児童生徒の自立学習の促進 		美麻義務教育学校では一貫教育を実施、八坂小・中学校や大町北小学校と第一中学校などでは連携教育を実施している。	B
◎中高連携教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・大町岳陽高校に中高連携教員を配置し、数学・英語教科などの連携の推進に加え、進路指導を充実 		中高連携職員の配置を図り、中学生による体験入学や、市内中学との交流会など、取り組みを始めている。	B
◎体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「きらりおおまちサンラン」や元気アップ運動の実践による正しい生活習慣の確立 		全国と比較して、体力の低下が懸念される。生活習慣の改善や、大学と連携した元	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルマラソン、サーキットトレーニングなど体力向上の充実を図り、継続して定着化 		<p>気アップ事業をモデルとした取組みを一層推進するとともに、すべての学校で体力テストを実施し、継続的にデータをチェック、検証しながら、課題にあった体づくりに取り組む。</p>	
◎運動部活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・「中学生期のスポーツ活動指針」に基づく、適切で効果的な運動部活動の促進 		<p>活動指針に基づき、効果的な運動部活動を促している。また、市独自の活動方針により、活動時間等の適正な管理を実施している。</p>	B
◎学校給食における食育・地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・食事を通じた教育や、地域の農産物や料理を通じて地域への理解を深め、児童生徒の健康な体づくりを促進 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の取組みを更に推進するため、生産者と栄養士の意見交換などを実施。また、「大町を味わう日」を設けるなど、地域食材を通じた食育にも力を入れている。 	B
		農林水産課	<p>JA大北による地元農産物の集出荷の支援を行い、学校給食における利用を進めている。</p>	B

【時代の変化に対応した教育の推進】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎アクティブラーニングの定着	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用した、アクティブラーニングによる課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びの実践 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用しながら、協働の学びを実践。市内全校でより深い学びへの取り組みを進めている。 ・国の指針に沿ったカリキュラムや、時代に合ったICT機器の更新・導入に取り組んでいる。 	B
◎外国語学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手（ALT）の積極的な活用 		<p>すべての市内中学校にALTを配置するとともに、小学校の外国語活動にもALTを派遣し、小学校の英語教科化への対応を進めている。</p>	A

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

◎正しいメディア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会の進展に対応した、適切なメディア教育の推進 		情報モラルアンケートを実施するとともに、情報教育の一環として、外部講師を招いた情報モラルの講演会等実施している。	B
---------------	---	--	--	---

【多様な教育的ニーズのある子どもたちへの支援】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎特別支援教育態勢の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・心身に障がいを持つ児童生徒に対する支援態勢の整備充実 ・障がいのある子どもを含む全ての子どもが共に学ぶインクルーシブ教育の推進 ・教職員の確保と指導力の養成 	学校教育課	特別支援教育補助指導員の配置等、特別支援学級の充実によって、個に応じた支援体制を構築している。	B
◎特別支援指導員の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい等を持つ児童生徒の通常学級への在籍に対応するための特別支援指導員の配置 			
◎心身障がい児のための教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署、機関と連携した発達障がい児の早期把握と支援 ・教育相談委員会の充実 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談委員会を通じ、早期把握や支援体制の確立を進めている。 ・関係部署との、より充実した連携を推進する。 	B
		子育て支援課	保育園、認定こども園、幼稚園において、5歳児発達相談及び巡回相談を実施。発達特徴の理解を深め、発達状況に応じ就学に向けた支援を実施している。	B
◎外国籍児童生徒に対する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍児童生徒に対する日本語指導の充実 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・通訳支援者を必要に応じて学校に配置して支援している。 ・多様な言語に対応する通訳支援者の確保が難しく、併せて財政的負担が大きい。 	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

【豊かな心と健やかな体を育む教育の推進】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎不登校等の悩みを抱える子どもへの支援	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の様々な悩みや課題の早期発見、早期対応に向けたスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置と関係機関の連携強化 学校が一丸となった課題の解決と、家庭や地域と連携した取り組みの推進 登校支援指導員や心の教室相談員の配置による就学支援に向けた取り組みの推進 中間教室「アルプスの家」への適応指導員の配置による支援態勢の充実強化 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラー3名を配置し、定期的に市内小中学校を訪問して、さまざまな悩みや課題に対応している。 中間教室での支援体制や、関係づくりを充実するなかで、通室生徒の進学や、学校復帰を叶えている。 	A
		子育て支援課	ケースワーカー、保健師、家庭児童相談員と学校職員等が連携し、相談支援・就学支援を実施している。支援態勢の充実強化が課題となっている。	C
◎道徳教育・人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> いじめなど学校での悩みや課題を持つ児童生徒の早期発見と早期支援等解決に向けた取り組みの強化 いじめや不登校の児童生徒ゼロを目指し、人権教育を基本とした学校、学級づくりの推進 福祉、保健、医療等との連携強化やスクールカウンセラー等の支援、指導態勢の充実 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒たちが自らいじめ根絶に向けた取り組みを実施している。 人権を考える市民の集いを学校で開催することにより意識の向上が図られている。 	A
		生涯学習課	地区人権を考える市民の集いを学校で開催し、児童生徒の人権に対する意識向上が図られている。	B

【地域とともにある学校づくり】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎コミュニティ・スクールの推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性を生かし、学校や家庭、地域住民が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」の推進 児童数の減少に伴う学校のあり方や地域課題についての協議の場の設置 	学校教育課	すべての市立学校を、学校・保護者・地域が連携して学校運営に参加するコミュニティ・スクールとして指定し、地域に関われ、地域と一体となった学校づくりが進められている。	A

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放行事など地域に開かれた学校づくりの推進 ・特色ある学校づくりを通じた地域の活性化 ・地域人材の活用の推進 ・学社連携・融合事業の充実 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会などの地域行事を小学校と共同開催し、学校と地域との一体感を深めている。 ・公民館長をはじめ、社会教育関係者などの人材をコミュニティ・スクールのコーディネーター等として共用することにより、学社連携・融合を進めている。 	B
<p>◎社会人・職業人として自立に必要な能力、意欲の形成を図る キャリア教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育推進協議会を設置し、小学校・中学校・高等学校が一貫した連携態勢の整備 ・職場見学、職業体験学習先の登録制の導入と事業者による学校支援の充実 ・キャリア教育指導員による相談、支援の充実 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を中心に、小・中・高が連携した教育カリキュラムの作成が必要である。 ・職場体験や職場体験受入先の発掘等拡充が必要であり、市全体として構築した体制により、今後さらなる推進を図る。 	B
		生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校など特に支援が必要な子どもについて、義務教育終了後も進学、就職後も見守り、必要な支援・相談を提供する体制を取っている。義務教育終了後に支援が必要となった子どもを把握できないことが課題。 	D
<p>◎郷土を学ぶ体験学習、郷土愛・郷土に誇りを持つ気運の醸成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土学習冊子「ふるさと きのう・きょう・あした」を活用した体験学習や校外活動等による地域への理解を深める活動の推進と、郷土を愛する心の醸成 ・総合学習等の成果を市民に発表する機会の提供 		<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習に地域との連携が進んでいる。 ・学校ごとにお米作りや伝統工芸など、地域に根ざした学習を取り入れている。 	A
<p>◎学校支援員、ボランティアの育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ボランティア等の人材育成の推進と活動の拡大 ・学校支援員の育成と相互の連携の強化 ・地域とともにある学校づくりと協働の気運の醸成 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、保護者、地域が連携して学校運営に参加するコミュニティ・スクールを導入し、地域とともにある学校づくりを進めている。 ・活動の資質向上を図るため、コーディネーター会議を開催し、市内各校の情報 	A

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

		交換や課題解決に向けた取組みを進めている。 ・コーディネーターを中心に、学校ボランティアの活動推進や人材育成に取り組んでいる。
--	--	--

【教育環境の整備】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎幼児期を含めた教育のあり方の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の進行など時代の変化や地域の特性に応じた教育全般のあり方についての検討 	学校教育課	義務教育のあり方検討委員会を設置し、検討を進めている。	B
		子育て支援課	地域の幼児教育を担う私立幼稚園・認定こども園に対し運営支援を実施している。少子化に応じた施設のあり方について引き続き検討を行う。	C
◎施設・設備・機材の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的なひとづくりにつながる小中学校の施設整備の検討や実施 ・教育環境の充実を図るための、設備・機材等の整備 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・特に小学校は老朽化が著しく、大規模な改修が必要であることから、大町市のファシリティマネジメントのなかで学校の統廃合も含め改修計画の策定と財源確保を検討していく。 ・理科教育設備整備等補助金の活用など教育環境の充実を図っている。 	B
◎就学支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・就学費助成の実施 ・私立高等学校就学生徒への就学助成の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由により就学困難な状況に陥ることのないよう、関係機関と連携し就学援助事業を実施している。 ・保護者の経済的負担軽減のため、私立高校生奨学補助事業を実施している。 	A
◎奨学金の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・高校、大学、専門学校に就学する学生に対する奨学金制度の充実 ・新たな給付型奨学金制度の創設による、大学生等に対 		<ul style="list-style-type: none"> ・市独自の奨学金制度を実施し、経済的な支援を実施している。29年度から給付 	A

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

	する就学支援の拡充		型奨学金制度を創設し、支援の充実を図った。30年度は2件貸し付け。	
◎通学の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・「おおまち子ども安心・安全マップ」の周知による危険箇所の情報共有と、通学時の児童生徒に対する地域の見守り態勢の確立 ・遠隔地の子ども足の確保するためのスクールバスの運行 		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの公開等、周知・活用を進めるとともに、小学校区ごとの子どもの安全を守る地域連絡会の活動の継続による、関係機関が連携した取り組みを推進する。 ・道路管理者及び警察署と連携した「大町市通学路安全推進会議」を設置し、「大町市通学路交通安全プログラム」を策定した。継続して取り組んでいく。 ・スクールバスは、遠距離通学児童生徒の安全を確保するとともに、登下校における通学手段の確保、課外活動・校外活動の充実を図るうえで必要不可欠であり、臨時運行など柔軟に対応し、安全な通学の確保に努めているが、法改正に伴う運賃の増額が予想される。 	A

【地域で育む教育の推進】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎家庭教育支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育に関する学習機会の提供 ・子どもや親子で参加できる体験学習の機会と内容の充実 ・広報やインターネット、学校や公民館等による啓発活動の強化 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・社地区では、心身ともに健やかでたくましい子の育成のため、家庭教育懇談会を開催している。地域で生活する子どもたちの実態を踏まえながら、家庭や地域での大人の関わり方について懇談会を実施している。今後は他の地区でも開催を進める。 ・地域子育てセミナーを開催し、家庭・学校・地域の連携による、具体的な実践の方策等について理解を深めている。 	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

			<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会育成会の活動を支援することで、子どもたちが遊びを通じて自主的な体験活動をする機会を得るよう働きかけている。 ・年4回「がったつうしん」を発行し、親子で参加できる各種行事や子どもの体験学習の場の情報提供を実施している。 	
<p>◎学校・家庭・地域の連携強化による健全育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動による青少年の非行防止のための巡視、補導活動の充実 ・青少年を取り巻く有害環境の改善や防止活動の推進 ・いじめや不登校、引きこもりなどの問題に、学校だけでなく家庭や地域が一体となって取り組む態勢づくり ・子どもたちを取り巻く諸問題に対して、サポートする組織の強化と充実 ・悩みを抱える子どもたちを受け入れ、心の支えとなる相談場所や人材の確保と充実 	<p>子育て支援課</p>	<p>ケースワーカー、保健師、家庭相談員を配置し、関係機関と連携し気軽に相談できる態勢づくりに努めている。 相談支援体制の確保・充実が課題となっている。</p>	<p>C</p>
		<p>生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会を単位として71名の補導委員を選任し、年間56回の街頭補導活動のほか、PTA・教職員との合同補導も実施している。 ・高齢化や自治会人口減少等により、補導員の選出が困難な地域が出始めてきている。また、選出されても1年で交代になることが多く、補導活動が定着しがたい。補導員・教職員・PTAによる合同補導においても意思統一が難しい状況である。地域が一体となり、子どもたちを取り巻く諸問題に対して、いかにサポートしていく意識や体制を作り上げることが課題 	<p>B</p>

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

<p>◎学校・家庭・地域の連携強化による学習支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就学児童が放課後等を安心・安全に過ごし、多様な体験や学習ができる児童クラブや放課後子ども教室等の充実 ・社会教育施設や関係団体等の連携による休日の子どもたちの学習支援活動の場の確保と充実 ・家庭での学習が困難であったり、学習が遅れがちな子どもたちの基礎学力の向上を図るため、生活習慣や学習習慣を身につける学習支援の場の検討 	<p>子育て支援課</p>	<p>放課後児童クラブについては、運営体制の確保、放課後子ども教室との連携が課題となっている。 市内 NPO 法人が実施する「第三の居場所事業」への協力支援を行う。</p>	<p>C</p>
<p>◎多様な体験活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の諸団体同士の連携による活動の促進 ・遊び場やスポーツ活動、野外活動、文化活動の場としての公共施設の有効活用と利用の促進 ・通学合宿等の生活体験の実施 ・様々なボランティア活動の促進 ・伝統文化を理解する機会の充実と継承活動の推進 ・自然環境問題への実践活動の充実 	<p>生涯学習課</p>	<p>10月から南小学校区で放課後子ども教室を開始し、毎週水曜日の1時間、学習支援を行っている。 今後、他の小学校区でも開始予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動への支援として、育成会向けのバス利用「体験学習号」の運行を実施している。 ・子どもたちの生きる力を育むために、少年リーダー研修会を通じて自然体験学習等を開催している。 ・子どもたちの自主性や協調性を養うため、小学生のリーダー研修会を実施しているが、育成の成果はなかなか見えにくい。 ・（公財）育てる会の施設を活用し、留学生のセンター指導に併せて通学合宿を4泊5日で行った。 ・八坂地区では高校生が組織する「学友会」活動を支援し、お盆の球技大会やボランティア活動を実施した。生徒数の減少により活動の継続が危惧される。 ・子ども球技大会と駅伝大会を開催しているが、少子化等の影響により、駅伝大会の存続が難しくなっている。 	<p>B</p>
<p>◎高度情報化社会への対応と情報教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や児童生徒に対するインターネットやSNS等の正しい利用方法や危険性に関する学習機会の充実 		<p>青少年育成市民大会、人権を考える市民の集いなど、あらゆる機会を利用して啓発と学習を進めているが、情報化の進展に追い</p>	<p>C</p>

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

<p>◎郷土愛や、自分、周囲の人を大切に思う心を育む活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールにおける子どもたちの様々な学習の場の充実と地域住民の積極的な参画の促進 ・郷土学習の充実 ・人権を尊重する意識を高める機会の提供と支援 ・異文化交流による、多様な価値観を尊重する心の醸成 ・山村留学の都市児童の積極的な受け入れによる交流の促進と地元児童双方の教育効果の増進 	<p>生涯学習課</p>	<p>つくにはさらに努力が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター、ボランティアなど人材の共用、運動会、人権を考える市民の集いへの学校参加により、地域社会と子供たちとのつながりを深めている。 ・郷土理解を深め郷土愛を育むため、郷土学習冊子「ふるさと きのう・きょう・あした」を小学校へ配布している。 ・メンドシーノ国際交流支援 ・山村留学の推進のため、（公財）育てる会と受入れ農家等で組織する山村留学推進協議会へ補助を行った。受入れ農家の高齢化が進み、後継者の確保が課題である。 	<p>B</p>
<p>◎地域を担う人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での福祉・環境・奉仕活動・職場体験等の社会体験の促進 		<ul style="list-style-type: none"> ・お手伝いし隊事業によるボランティア体験学習、子ども会のガードレール磨き活動支援を実施 ・保育サポーター養成講座を実施 	<p>C</p>
<p>◎子ども会活動の活性化と少年リーダー等の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会活動の促進と育成会による支援 ・子ども体験学習号の運行と積極的な活用 ・子ども会リーダー研修会等でのリーダーの育成と活動の場の充実 ・子どもたちの主体的な活動をサポートする地域の指導者の育成と確保 ・リーダーバンクへの指導・育成者の登録の促進 		<ul style="list-style-type: none"> ・6地区ある単位子ども会へ補助金を交付し、地区ごとの特色ある育成会事業を実施している。 ・子ども体験学習号を運行し、子ども会育成会の活動の多様化に貢献している。 ・子ども育成連絡協議会へ委託し、リーダー研修会を実施。子ども達の主体的な活動をサポートしている。 ・少子化により各地区の子ども会等の活動が低調になりつつあるからこそ、いかにサポートしていき、意識や体制を作り上げていくかが課題である。 	<p>B</p>

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

		<p>・リーダーバンクについては登録促進だけでなく、活用してもらうよう周知が必要である。</p>	
--	--	--	--

【特色ある交流事業の推進】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎姉妹都市交流	<ul style="list-style-type: none"> 地域学習と姉妹都市との交流により、交流先の都市への理解を深めるとともに、大町の新たな魅力を発見する機会の提供 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 毎年相互に行き来し実施される姉妹都市中学生サミットによる立川市との交流を通じ、両市の友好と理解がますます深まることともに、魅力の再発見につながっている。 立川市内の複数の中学校による、スキー教室の実施により新たな交流が生まれている。 	A
◎山村留学を通じた都市交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> 山村留学経験者や関係者と連携した地域活動の実施による都市交流の促進 	八坂支所	山村留学OBや保護者が八坂地区内で開催される運動会や夏まつりに参加して、住民と交流している。	B
		美麻支所	山村留学OBや保護者が美麻地区運動会に参加し、地区住民との交流を深めている。	B
◎メンドシーノ姉妹都市交流事業	<ul style="list-style-type: none"> 訪問団の派遣と受入れの隔年実施 	美麻支所	30年度は訪問団28名（5年生11名、6年生7名を含む）をメンドシーノに派遣し、学校交流やホームステイを通じて交流を深めた。	A

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (平成33年度)	担当課	H30 数値	課題等
放課後・土日学習支援活動実施施設	—	1 施設以上	子育て支援課	0	実施場所、人材の確保
家庭教育懇談会開催会場数	6 会場	10 会場	生涯学習課	6 会場	6会場とも社地区の開催である。新規に他地区で開催することが望ましいが、既に地区懇談会も行われているため、さらなる広がりには検討が必要。
ジュニア・シニアリーダー登録者数	11 人	12 人	生涯学習課	30 人	

□市民意識調査□

調 査 項 目	基準値	目標値
学校教育環境に満足していると思う市民の割合	63.0%	80%
地域ぐるみの非行防止と青少年健全育成に満足していると思う市民の割合	63.6%	70%
地域に向け開かれ、地域と連携した学校運営がなされていると思う市民の割合	61.0%	75%

○関連する個別計画

大町市生涯学習推進プラン、大町市社会教育計画、大町市過疎地域自立促進計画

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
児童クラブ運営事業	13225	児童クラブ運営事業	子育て支援課
	15124	女性未来館ピュア運営事業	生涯学習課
山村留学事業	110128	山村留学支援事業	生涯学習課
	110416	生涯学習推進事業	生涯学習課
	110417	人権教育推進事業	生涯学習課

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

	110421	補導・環境浄化活動事業	生涯学習課
	110422	青少年育成事業	生涯学習課
	110435	大町公民館活動費	生涯学習課
	110437	平公民館活動費	生涯学習課
	110439	社公民館活動費	生涯学習課
	110431	八坂公民館活動費	生涯学習課
	1104313	美麻公民館活動費	生涯学習課
小・中学校英語指導助手配置事業	110221	小学校教育振興一般経費	学校教育課
	110321	中学校教育振興一般経費	学校教育課
学習支援員等配置事業	110221	小学校教育振興一般経費	学校教育課
	110321	中学校教育振興一般経費	学校教育課

※実施計画に該当しない事務事業についても、本施策に該当していれば記入してください。（その場合、実施計画名欄は空欄とし、事務事業No.及び事業名（予算書）欄へ記入してください。）

◆2 生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供◆

生涯学習は、個人の生きがいや教養、趣味、レクリエーション活動等に関する学習だけでなく、市民一人ひとりが地域と関わり、地域課題、生活課題の解決に向けて一体となった「学びの絆」や、学びの成果を地域に還元する「学びの循環」としての要素がますます重要になっています。

生涯学習推進プランや社会教育計画に基づき、生涯各期における学習機会や多様な分野の学習機会の充実、学習環境の整備を進めるとともに、地域づくりや子育てなど、市民と行政、市民同士の連携、協働態勢を構築し、生きがいに満ちた生涯学習の推進を図ります。

【生涯各期における学習活動の充実】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎生涯各期における学習機会の充実	・乳幼児期から高齢期の段階に応じた学習機会の提供と充実	生涯学習課	生涯学習課のあらゆる事業において、講座、講演会、イベントなどの形で学習機会を提供しているが、年代により事業内容が偏る傾向があり、20代から50代に特にその傾向が強い。	B
		市民課	母子保健事業をはじめ、地区健康相談や健康づくり推進委員会などの学習会等を活用し、健康に関し学ぶ機会を提供している。働きざかりの年代の参加者が少ない	B

【社会教育の充実と活性化】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎社会教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 多様な分野の学習機会の充実と支援 地域課題、生活課題に関する学習の強化 郷土学習の推進 全市的な教育課題に対する取組みの強化 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 講座、講演会、イベントを通じて多様な学習機会を提供している。 地域課題、生活課題に関する学習は、地域により取り組みに差がある。 郷土の歴史については学習要望が高い。 郷土学習冊子を作成し市内4年生へ配布している。 自主的なグループによる学習支援も行っ 	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

			ているが、高齢化により解散するケースが増えている。	
◎公民館事業の充実と活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会のニーズに対応した質の高い公民館事業の推進 ・自主グループ等の活動の支援 ・地域コミュニティの活動の支援 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会などスポーツイベントを中心に参加者が減少し、伝統的な地域を単位とした行事の実施が難しくなっている。 ・地域コミュニティに参加しない住民が増えていることから、そうした住民が参加し、地域への帰属意識を高める事業展開に努める。 	C
		まちづくり交流課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体には、活動に必要な備品類の貸出や印刷のサービスまた情報提供、情報発信、補助金の相談などの活動支援を行っている。団体間連携を望む声もあり、意見交換会を開催し好評だった。今後は、こうした機会を増やしていく。 ・連合自治会事務局、大町地区連合自治会事務局として、自治会の抱える問題等に相談窓口として対応している。少子高齢化により、役員のなり手がなく、行事等の運営が成り立たないなど課題は多いが、頑張っている自治会の活動を情報発信するなど地域コミュニティの大切さを訴えていく。 	B
◎図書館の充実と読書活動等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが利用しやすい図書館サービスの充実 ・子どもから大人までの読書活動の促進 ・読み聞かせ活動等多様な分野でのボランティア活動の推進 ・他の施設やボランティアとの連携による事業の充実 	生涯学習課	子ども向けのおはなし会やブックリストの作成、くまの子文庫、セカンドブックの実施。高齢者施設読み聞かせ訪問やシルバー文庫の実施。学校図書館司書との懇談会の開催	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

◎他機関との連携、協力の推進	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育施設をはじめ民間の教育施設等との積極的な連携と協力による学習機会の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー博物館の運営支援を行い、市の大きな特色である水力発電と自然環境を柱とする郷土学習に活用している。 安曇野アトライン推進協議会を結成して広域的な美術・博物館施設を一体的にアピールすることで、相乗効果を図っている。 	C
----------------	---	---	---

【多様な分野の学習活動の促進】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎社会情勢の変化に対応した学習の促進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力を知り、発信する学習活動の充実強化 防災意識の啓発と学習活動の充実 外国語講座等国際理解を深める学習や各種交流事業の充実 情報化社会に対応したパソコン教室や情報セキュリティ対策などの学習機会の充実 	生涯学習課	外国人に向けた日本語講座を開設し、国際理解を深めるよう努めている。	C
		消防防災課	自主防災会を中心に地域で防災訓練を実施。地震総合防災訓練や春秋に実施している住民参加型訓練、消防団が開催している消防フェスタなどで防災意識の高揚と知識の習得の機会を設けている。	B
		情報交通課	学習活動に知見を有する大学や企業等をメンバーに含めた ICT 学習活動促進協議会を立ち上げ、児童、生徒、地域住民がプログラミングを学ぶことができる事業をH30年度から実施した。	B
◎アルプス囲碁村づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 保育園や学校などへの囲碁普及員派遣による囲碁の普及啓発活動 アルプス囲碁村まつり等の交流イベントの開催 囲碁普及員や学校囲碁指導員の育成 	企画財政課	アルプス囲碁村推進協議会において普及員の派遣により普及活動に取り組んでいるが、特に中学生への普及については、授業時間の都合等により、取り組みが進んでいない状況にある。市内保育園や小学校での取組が繋がっていないことが課題である。教	B

			<p>育員会との連携をさらに深め継続した取り組みが進められる環境づくりを目指す必要がある。囲碁村まつり等の様々な機会により「囲碁初心者講座」等の開催に努め、幅広い年齢層の普及を図っていく。</p>	
<p>◎山岳文化都市としての情報発信や学習活動の充実と促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・山岳情報や山岳文化・歴史、山岳の自然や生き物など山岳文化都市としての積極的な情報発信 ・博物館としての機能や施設の充実 ・「北アルプスの自然と人」を基調とした常設展や企画展等の開催に併せた講演会、出版等の実施 ・鹿島槍ヶ岳カクネ里雪渓の氷河認定を契機とした北アルプスや氷河への関心の喚起 	<p>山岳博物館</p>	<p>企画展の開催、関連する講演会やイベントなどの開催、並びに広報「山と博物館」の発行、研究紀要、ホームページの開設などを通じ情報発信や教育普及の事業を積極的に実施している。</p> <p>また博物館の主要な事業であるライチョウの飼育事業やカクネ里氷河の研究成果の周知についても、機会に応じて最新の情報を提供している。</p> <p>市内の小中高校との連携・融合を図り、学社連携事業として博物館を活用した学習会の開催や社会人を対象にした出張講座などに積極的に講師派遣を行っている。山岳博物館友の会との連携を深め、共催による学習会や観察会、先進地視察などを実施している。</p> <p>なお今後の課題としては、博物館入館者への解説やレファレンス、連携事業などに時間を割かれるとともに、調査・研究に費やす時間が減少し、情報発信の核となる企画展の回数が減少している。</p>	<p>A</p>

【自由に学び成果を生かす学習環境の整備と連携態勢の構築】 進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎情報提供・相談事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ニーズに対応する多様なメディアを用いた情報提供の推進と環境整備 ・適切な助言と情報提供を一体化した学習相談態勢の確立 ・生涯学習リーダーバンクの登録の促進と積極的な活用 ・市職員の出張講座による学習機会の充実 ・自主的な市民活動の情報提供と支援 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに関係のあるイベント等の情報を広域から集め「がったつうしん」を作成し、紙媒体で配布するとともに HP に掲載している ・文化会館、図書館の情報は SNS を活用し情報発信の充実に努めている。 ・リーダーバンクは、登録者が活躍できるような自主的集団学習を促進することが課題 ・サークル一日体験の推進度を通じて、自主文化活動団体への支援と情報提供に努めている 	C
◎社会教育推進態勢の強化と施設機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設等の機能強化と施設間の連携、協力態勢の強化 ・関係機関、団体等と連携、協力した学習活動や事業の充実 ・社会教育施設等の自己評価による事業の改善 ・社会教育施設等の適切な維持管理と快適な環境づくり 			<ul style="list-style-type: none"> ・子ども体験学習号での施設利用メニュー提案、学習活動における相互利用などで施設間、関係団体等の協力、連携を図っている ・社会教育施設には、運営審議会、委員会、協議会を置いて事業計画、事業報告を審議し、意見を取り入れて民意を反映するよう心がけている ・施設駆体の寿命を意識した大規模修繕計画と実耐用年数を見とおして使用不能になる前に改修する計画的な維持管理を行う

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

◎学習成果の評価と活用	<ul style="list-style-type: none"> 学習の成果を地域社会で活かすための支援の充実と活動機会の整備 個人のキャリア向上につながる取組みの充実 	生涯学習課	文化祭、サークル活動発表、市民芸能まつり、雪形まつりなど学習成果の発表の場を提供している	B
◎生涯学習ボランティアの活動促進	<ul style="list-style-type: none"> 多様なボランティア活動への参加啓発と活動の機会や環境の整備 個人や団体のボランティア活動の支援と連携態勢づくり ボランティアコーディネーターなど専門的かつ中心的な指導者の育成 リーダーバンクへの登録の促進と活動の充実 		<ul style="list-style-type: none"> お手伝いし隊の実施、育児ボランティア養成講座の開設などボランティア活動への施策はまだ少ないため、今後事業を拡大していく必要がある。 リーダーバンク制度の一層の活用を図るための検討が必要 	C

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (平成33年度)	担当課	H30 数値	課題等
公民館利用者数	93,099 人	93,000 人	生涯学習課	88,441 人	
公民館講座等開催数	445 回	450 回	生涯学習課	368 回	自主的な学習を継続するよう誘導する。
公民館講座等受講者数	9,679 人	9,700 人	生涯学習課	7,444 人	
図書館年間貸出冊数	154,641 冊	155,000 冊	生涯学習課	144,946 冊	少子化に伴い貸出冊数は減少傾向となっていたが、各種講座の開催など利用者増のための取り組み強化により、H30 年度は前年比増となった。引続き魅力ある施策を推進し、利用者増に努めていきたい。
図書館来館者数	44,178 人	44,000 人	生涯学習課	79,890 人	統計データ収集方法の変更により来館者数増
生涯学習リーダーバンク登録者数	59 人	80 人	生涯学習課	63 人	
	20 団体	25 団体	生涯学習課	18 団体	
生涯学習のまちづくり出張講座メニュー数	128 項目	140 項目	生涯学習課	127 項目	
生涯学習のまちづくり出張講座利用件数	111 件	130 件	生涯学習課	95 件	

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

生涯学習のまちづくり出張講座利用者数	4,133人	4,300人	生涯学習課	3,127人	
囲碁普及員派遣延べ時間	348時間	350時間	企画財政課	392.25時間	普及員の派遣時間数は増加しているが、少子化等の影響により受講者数が減少傾向にある。今後、日本棋院大町支部との連携やSNS等の活用により、青～成年期等幅広い受講者の増加に向け取組みを進めていく。
山岳博物館年間入館者数	18,294人	21,000人	山岳博物館	19,097人	入館者増へ更なる施策の検討

□市民意識調査□

調査項目	基準値	目標値
生涯学習の場や機会の充実に満足していると思う市民の割合	63.3%	70%
公民館活動に満足していると思う市民の割合	73.0%	80%
山岳文化都市づくりを聞いたことがある市民の割合	41.3%	60%

○関連する個別計画

大町市生涯学習推進プラン、大町市社会教育計画、アルプス囲碁村計画

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
	15124	女性未来館ピュア運営事業	生涯学習課
	110414	エネルギー博物館運営費助成事業	生涯学習課
	110416	生涯学習推進事業	生涯学習課
	110435	大町公民館活動費	生涯学習課
	110437	平公民館活動費	生涯学習課
	110439	社公民館活動費	生涯学習課
	1104311	八坂公民館活動費	生涯学習課
	1104313	美麻公民館活動費	生涯学習課

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

	110443	図書資料購入事業	生涯学習課
山岳博物館教育事業	110613	山岳博物館教育普及事業	山岳博物館
付属園整備事業	1106112	付属園整備事業	山岳博物館
市民活動促進事業	12182	市民活動促進事業	まちづくり交流課

※実施計画に該当しない事務事業についても、本施策に該当していれば記入してください。（その場合、実施計画名欄は空欄とし、事務事業No.及び事業名（予算書）欄へ記入してください。）

◆3 芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実◆

文化会館や山岳博物館をはじめとする文化施設について、市民の幅広い芸術文化活動の場や芸術文化創造の場としての活用を進めます。また、現在活動している各種サークル等の連携を促進し、地域全体の芸術文化活動の振興を図ります。

特に、国内外からアーティストを招へいし、地域資源を活用した芸術創作活動を支援するアーティスト・イン・レジデンスを積極的に展開し、本市の新たな魅力の創造や交流を通じて、市民が身近に芸術文化に触れる機会を創造します。

また、市民一人ひとりが、年齢や体力に応じて気軽にスポーツに親しみ、いきいきと健康で元気に過ごすことができるよう、スポーツ教室や健康教室、各種スポーツ大会の開催など、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上を図ります。

【芸術文化の振興】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎芸術文化の振興と芸術鑑賞、体験機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・専門委員による調査、研究や提言活動の推進 ・展覧会等の情報提供や美術館めぐりの開催 ・文化会館の自主事業の充実 ・子どもたちの芸術鑑賞の機会の充実 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・美術振興専門委員会を設置し美術振興に対する提言を受けている。 ・「美術館めぐり」を実施し、芸術文化にふれる機会を提供するなど。芸術文化に対する情操や感性の育成に努めている。 ・文化会館自主事業の実施によって市民が優れた芸術文化に触れる機会を確保している ・劇団四季と当市のつながりを大事に、文化活動を振興する取り組みとして四季観劇ツアー及び「追悼・浅利慶太展」を実施した。 	B
美術作品等の整理と一般公開の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品等の台帳の整備や作品等の一般公開の推進 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・美術品台帳のリスト整理が終了したため、作品の有効活用を図ることが課題である。 ・市が所有する絵画と市にゆかりのある作家の美術品展覧会を実施した。 	C
◎市民の自主的で主体的な芸	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の自主的かつ主体的な芸術文化活動の促進のため 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動をしている市民団体に、ギャラリー・いーすらの貸し出しをして 	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

術文化活動の振興	めの支援 ・文化祭、芸術祭等の芸術文化活動の発表の場の確保と支援 ・行政と民間等との協働による事業の実施		おり、絵画・写真展などに利用していただいている。 ・大町市文化祭開催11月3日から5日まで45団体作品約1,700点 ・大町市民芸術祭の開催(ジャンルごとに3日間) ・大町市少年少女合唱団定期演奏会とはばたきの集いを事務局として開催支援 ・地区文化祭を開催し、地域の幅広い年代の作品展示。作品及び発表者の減少が課題(生涯学習課)	
		八坂支所	・地区独自の文化活動団体への支援(ふれあい倶楽部・青竜太鼓) ・八坂公民館と連携して地区文化祭の開催協力をしている。	B
		美麻支所	公民館と連携し地区文化祭に協力している。また地区独自の文化活動団体である源流美麻太鼓保存会への支援を行っている。	B
◎芸術文化に関するサークル活動や自治会活動等の奨励と支援	・サークルや自治会などの自主運営の拡充と活性化のための支援 ・地区文化祭等の発表の場、体験学習の場の提供と充実 ・団体等の交流と広域的な活動の促進 ・サポーター募集による芸術文化活動に参加できる仕組みの構築	生涯学習課	・文化祭や市民芸術祭の開催を通して、各種団体の交流、学習を深めて演奏会等の自主開催を促した。 ・大町市少年少女合唱団と大町市芸術文化協会の事務局として市内芸術・文化団体の育成・支援と人材の育成を図った。 ・合唱団と芸術文化協会は、団員の減少、高齢化や協会加盟団体の減少が課題である。活動のPRに努め、会員の増と活性化に努めた。 ・公民館施設の貸し出しや情報提供等、団体の育成・支援を行っているが、高齢化等により団体の活動は低調さみである。(生涯学習課)	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

		まちづくり交流課	芸術祭のボランティアサポーターは、随時募集を行っており、現在、登録者数は613人。中間年であるH30のサポーターの関わりは、中間年イベントやサポーター交流会等に県内外から延べ約70人参加。今後、2020年の次回芸術祭に向けて、募集強化と参加しやすい仕組みの構築を図る。	B
--	--	----------	--	---

【文化財の保護継承と活用】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎文化財保護の推進と学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財の保存修理やパトロール等による破損の防止と環境整備 文化財の保護意識の啓発 郷土学習冊子「ふるさと きのう・きょう・あした」の活用 文化財センター、民俗資料館などの施設の活用 未指定文化財の掘り起しと学術調査の実施 県や関係機関等との連携と文化財の調査研究の推進 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財・未指定文化財の調査を県や関係機関等と連携して実施するとともに、実態に即した保存修理や環境整備等の補助事業を実施している。所有者等の高齢化等により負担が厳しくなり、補助事業の実施に限らず、維持管理自体が難しくなりつつあるのが課題である。 文化財の説明板や案内板の設置や修繕を実施することにより、文化財保護意識の醸成と学習活動の支援、文化財の活用の促進を図っている。 郷土学習冊子「ふるさと きのう・きょう・あした」を小学校へ配布し活用を図っている。 	C
◎地域の伝統文化や伝統芸能の保存と継承	<ul style="list-style-type: none"> 文化財講座や文化財めぐりの実施 まちづくり出張講座等による文化財等の学習活動の支援 小中学校との連携による文化財や自然等の学習活動の促進 地域の伝統芸能の後継者育成等、継承のための支援 		<ul style="list-style-type: none"> 文化財講座・文化財見学会を実施し、文化財の保護啓発活動と市民の生涯学習活動の充実を図っているが、受講生の減少傾向が続いているため、講座の内容や開催方法について検討を進める。 地域の伝統文化や伝統芸能に対する補助 	C

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に点在する文化財、民俗資料等の収集保管や、文化祭等での特別展示、巡回展示による積極的な活用の推進 ・文化財を活用した学習機会の充実 ・地域の歴史研究会等と連携した講座等の共同開催 ・伝統芸能等を後世に伝えるための情報収集と記録活動の推進 ・民俗芸能や風俗、風習などの保存活動と継承活動への支援 		<p>事業を実施し、無形民俗文化財の継承活動を支援したが、少子化や高齢化により民俗芸能等の伝授者、継承者が減少し、継承が難しくなる地域の発生が懸念される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存や継承活動の支援だけでなく、情報や活動の記録についても検討を進めたい。 	
--	---	--	--	--

【地域の芸術文化の創造】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎アーティスト・イン・レジデンス事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・アーティスト・イン・レジデンス、芸術祭等の開催と支援 ・芸術文化活動を通じた国内外との交流の促進 ・地域固有の芸術文化資源等の魅力の掘り起しと発信 	まちづくり交流課	<p>信濃大町アーティスト・イン・レジデンス事業では、市内の芸術文化イベントや芸術祭中間年イベントへの参加作家をはじめ、関係スタッフ等があさひ AIR に滞在し、作品制作や芸術文化の活動拠点としての事業展開を図った。また、継続的かつより充実した AIR 事業の実施に向けた仕組みづくりについて検討を行った。</p> <p>今後、AIR 事業については、毎年国内外から作家を招聘し、滞在制作を支援し、芸術文化振興を図るとともに、市民と作家の交流を深めながら、芸術文化都市としてのブランディングの土台としていく。</p> <p>2020 年に開催する、北アルプス国際芸術祭に向けては、前回の反省を生かしつつ、準備年として各種業務の遂行に努めた。次回芸術祭も、国内外から質の高いアートが集結し、生活文化でもある地域の食を提供し、国内外への強い発信、地域経済への波及効果、交流人口・関係人口の増、市民との協働の 4 つを狙いとし、持続可能な元気ある大町を目指し開催する。</p>	B

【山岳文化の振興と活用】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎調査・研究・教育普及活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・北アルプスを中心とした山岳文化に関わる人文・自然科学に関する調査研究・情報発信の充実 ・学校教育における総合的な学習の支援 		<p>博物館における調査研究については、順次その成果を企画展、あるいは紀要、広報誌「山と博物館」など様々な機会を通じて情報発信を行っている。</p> <p>市内小学校を中心に学社連携による授業を、山岳博物館展示資料を活用し実施している。</p>	A
収蔵資料の収集と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・山岳資料や美術資料、標本等、収蔵資料の収集と、企画展示や各施設での巡回展示などによる積極的な活用の推進 	山岳博物館	<p>博物館の機能を高めるために欠かせない資料の収集に関しては、そのほとんどが、寄贈や寄託に頼っているのが現状である。一方で山岳関係の図書資料や実物資料の保管・収蔵スペースが限界にきていることから、今後は資料収集においては選択的な収集を行わざるをえなく、将来にわたる収蔵計画について構想を練っている段階にある。</p> <p>これら収集した資料については、その利活用として、常設展示への反映や企画展での紹介など、可能なところから実施しているが十分といえない部分もあり、出来るだけ多くの資料をご覧いただけるように計画をして実現化していきたい。</p> <p>収蔵施設の環境については、空調機能等十分でない施設があり、今後計画的に改修、修繕を図っていきたい。</p>	B

【スポーツの振興】

進捗状況：A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
◎生涯スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期からの体力向上や学校と連携したスポーツクラブ活動等、子どものスポーツ活動の推進と充実 各種スポーツ教室や大会の開催、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できるスポーツの導入等、スポーツに親しむ機会の充実 保健、福祉部局と連携し、年齢や体力、目的等に応じたスポーツによる健康、体力づくりの推進 	学校教育課	<p>少子化に伴い、生徒のスポーツ活動の機会が損なわれることがないように、合同部活動等の取組みや、総合型地域スポーツクラブとの融合や協働など取組みを進めていく。</p>	B
		体 育 課	<p>年長児の運動遊び教室に加え、年中児までを対象に市内保育園等を巡回する運動遊び教室を実施。運動習慣づけに、より効果が期待できる。</p> <p>成人及び高齢者向けの教室については、年代により取組が進んでいない。</p> <p>保健、福祉部局等と、一部連携して事業を進めているが、同様の内容も多いため、より連携した取組みを進めていく。</p>	B
◎競技スポーツの推進と指導者の育成	<ul style="list-style-type: none"> 組織の育成や競技力の向上と指導者の養成、確保や活用の推進 スポーツへの関心を高めるためのトップレベルのスポーツ大会の開催やトップアスリートとの交流の促進 		<p>スポーツ振興事業補助金については、青少年のスポーツ大会等への参加については、17件の申請があったが、指導者や審判員の資格取得等の申請はなかった。</p> <p>トップレベルの試合を間近で見られるよう、松本山雅FCのトレーニングマッチを市サッカー場で開催。また、小中学生を対象に、松本山雅のホームゲームの観戦事業を行った。</p>	C
◎スポーツを通じたコミュニティづくり	<ul style="list-style-type: none"> 地域において身近なスポーツ活動の拠点となる総合型地域スポーツクラブの育成支援 地域で開催するスポーツ大会や教室、健康づくり等によるコミュニティの再生支援等、スポーツを通じた交流の充実 スポーツ活動や大会等を支えるスポーツボランティア活動の促進 自然環境を活かした山岳スポーツや、湖、河川での水上スポーツ等、地域特性を生かしたスポーツの振興 雪や氷など、自然の恵みを活かした冬季スポーツの振 	体 育 課	<p>総合型スポーツクラブの育成支援は、補助金の交付が主のため、今後、組織強化や人材育成等の支援を検討していく。(令和元年度において検討会議を立ち上げる予定)</p> <p>スポーツボランティア活動の促進では、例年、アルプスマラソンにおいて多くのボランティアに協力をいただいている。</p> <p>自然環境を活かしたスポーツでは、木崎湖でのカヌー等の海洋性スポーツ教室やカヌー大会を開催している。冬季スポーツでは、例年、市民スケート、市民スキー大会を開催しているが、今年度は天候等の不良のため、いずれも中止となった。また、</p>	B

第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

様式第1号

	興		西公園グラウンド及び常盤グラウンドにスケートリンクを開設したが、期間が短くなってしまった。スキー、スケート人口が減少傾向にあり、冬季スポーツの楽しさを伝える有効な方法を検討する必要がある。	
スポーツ施設の整備と有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況に応じたスポーツ施設の適切な整備 ・スポーツ施設の有効活用の促進 		<p>第二屋内運動場が完成し、冬期における運動施設が充実した。</p> <p>施設によっては、利用が少ない施設があり、今後の施設利用について検討が必要と考える。また、施設全般に老朽化が進み、修繕等の維持管理に多額の費用が必要となるため、計画的な施設管理を進める。</p>	B

◆数値目標◆

目 標 項 目	基準値	目標値 (平成33年度)	担当課	H30 数値	課題等
文化会館大ホール入場者数	26,872 人	27,000 人	生涯学習課	28,687 人	
文化財めぐり開催数	8 回	12 回	生涯学習課	8 回	講座の内容、方法の検討
文化財めぐり参加者数	408 人	500 人	生涯学習課	162 人	参加者の減少が進んでいるため、講座の内容や現地見学等開催方法を検討し、内容の充実を図りたい。
体育施設利用者数	297,682 人	281,500 人	体育課	290,898 人	利用者の少ない施設の有効活用を図る必要がある。
スポーツ教室参加者数	3,156 人	3,000 人	体育課	3,034 人	市民のニーズに合わせた教室の開催を行う。
スポーツ大会参加者数	9,447 人	8,900 人	体育課	8,666 人	冬季の市民スポーツ祭の中止と大会参加者が減少傾向となっている。
週に1回以上スポーツをする人の割合	48.0%	65%	体育課	48.6%	基準値であるH28の数値から0.6ポイント上昇

目標実現の条件

- ・大町市人口ビジョンの人口の維持

第1 ふるさに誇りを持つひとを育むまち

□市民意識調査□

調査項目	基準値	目標値
文化遺産や伝統文化芸能の保存と活用がされていると思う市民の割合	65.5%	75%
スポーツの振興について満足していると思う市民の割合	69.6%	80%

○関連する個別計画

大町市生涯学習推進プラン、大町市社会教育計画、大町市スポーツ推進計画、大町市過疎地域自立促進計画、文化資源活用ビジョン

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
八坂地域振興事業	121115	八坂地域振興事業	八坂支所
市民舞台芸術創作事業	121122	市民舞台芸術創作事業	生涯学習課
	110416	生涯学習推進事業	生涯学習課
文化会館自主文化事業	110453	文化会館公演事業	生涯学習課
文化財保護助成事業	110461	文化財保護一般経費	生涯学習課
市内遺跡発掘調査事業	110462	遺跡発掘調査事業	生涯学習課
	110463	文化財センター管理事業	生涯学習課
	110465	中村家住宅管理事業	生涯学習課
山岳博物館教育事業	110614	山岳博物館調査研究事業	山岳博物館
動植物飼育栽培繁殖事業	110616	動植物飼育栽培繁殖事業	山岳博物館
動植物飼育栽培繁殖事業	1106124	ライチョウ飼育事業	山岳博物館
	110514	体育大会運営事業	体育課
	110515	スポーツ振興事業	体育課
総合体育館音響設備更新事業	110522	体育施設整備事業	体育課
陸上競技場第4種公認取得に係る整備事業	815521	繰越明許費体育施設整備事業	体育課

※実施計画に該当しない事務事業についても、本施策に該当していれば記入してください。（その場合、実施計画名欄は空欄とし、事務事業No.及び事業名（予算書）欄へ記入してください。）